

学び方の段階表 = 金井がイメージする学び方・子どもの学ぶ姿

	低学年	中学年	高学年
ポイント 選択肢 6つの視点	☆教師が提示した学び方に取り組む！（2年生から実態に応じて中学年を意識）	☆学び方を子どもが選ぶことができる！（4年生から実態に応じて高学年を意識）	☆教師から学び方の提示が無い状態でも、子どもが決めることができる！
課題設定	教師が提示した課題に取り組むことができる	自分に適した課題を子どもが選ぶことができる	自分に適した課題を子どもが決めることができる
学習形態	教師が提示した学習形態（個人、ペア、トリオ、グループ）で学習できる	「自分で学ぶ」か「他者と学ぶ」かを子どもが選ぶことができる	自分の考えを広げたり深めたりするために、個人・ペア・トリオ・グループかを子どもが決めることができる
場所・道具	教師が提示した場所・道具（クロムブックを活用する経験は必須）で学習することができる	「どこで学ぶ」や「何を使って学ぶ」かを子どもが選ぶことができる	「どこで学ぶ」や「何を使って学ぶ」かを子どもが決めることができる
情報収集	教師が提示した方法（クロムブックを活用する経験は必須）で情報収集をすることができる	「何から情報を収集するか」を子どもが選ぶことができる	「何から情報を収集するか」を子どもが決めることができる
まとめ・伝達	教師が提示した方法（クロムブックを活用する経験は必須）でまとめたり伝達したりすることができる	「何を使って」や「どのように」を子どもが選ぶことができる	「何を使って」や「どのように」を子どもが決めることができる
振り返り	教師が提示した相手や視点で振り返ることができる	「誰と」や「何を」かを子どもが選ぶことができる	「誰と」や「何を」かを子どもが決めることができる

※45分間に6つの視点を全て盛り込むわけではなく、単元で重点を置いてもよい。

※年間を通して「選択肢 6つの視点」を設定し、子どもが自分で学びを進められるように育てる。